

博覧会協会における 予算執行状況について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

2025年1月23日

運営費・会場建設費の執行状況について

運営費の執行状況について（2024年11月末）

（単位：億円）

執 行 項 目	契約済(2024年11月末)			今後の予定 ※1			総合計
	金額	前回報告以降の主な内容	前回比 (2024年9月末)	直近の発注予定額 (2024年12月 ~2025年2月)	主な内容	予定額 (2025年3月～)	
会場管理費	298		20	26		191	515
会場運営管理・来客対応費	154	来場者サービス実施計画策定・実施運営業務（変更）、入場券販売関連システムサービス提供業務（変更）、関係者入場証発行・入退場管理システム構築等業務（変更）、備蓄品調達回収・運搬保管業務、救護隊運用業務 ほか	19		来場者サービス実施計画策定・実施運営業務追加業務（関係者ゲート運営、巡回業務）、ICT-PF 運用委託強化（夜間保守対応等）、感染症対策、防災関連資機材調達、万博IDユーザ対応業務委託 ほか		
ICT関連費	144	ICT-PF構築における外部人員の派遣契約、業務用通信端末の配備及びサポート保守等業務、非常用無線機調達 ほか	1				
事業運営費	110		31	16		31	157
共創事業費	21	サステナドームの実施制作・運営管理業務 ほか	3		主催者催事に係る実施計画策定及び管理運営業務（変更）、催事開催にかかる制作協力業務、催事施設設備調達、プロジェクションマッピング運営等業務、FLV交流会イベント実施運営、事業運営に係る人員の派遣契約、タイプC共同館（4館）運営管理業務、サステナドームの実施運営業務 ほか		
テーマ事業費	40	—	—				
催事費	38	主催者催事に係る管理運営業務、催事開催にかかる制作協力業務、催事施設内外装設備工事等及び運営管理業務 ほか	24				
住宅・公式参加国関係費	11	公式参加者の内装監理支援業務、国際参加者会議（IPM2025）運営等業務 ほか	4				
営業関係費	56		8	16		23	95
広報宣伝費	20	メディアセンター実施計画策定業務、メディアプラン業務契約、海外メディアへの広告出稿によるプロモーション事業 ほか	7		入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務（変更）、メディアプラン業務契約（変更）、入場券プロモーション事業（OOH）、公式記録制作等業務 ほか		
入場券関係費	36	山手線ADトレイン車体広告の掲出 ほか	1				
輸送管理費	130	道路交通マネジメント検討及び効果検証業務、夢洲交通運営本部等什器類調達・納品・設置、交通関係システム開発・運用 ほか	5	37	協会管理ターミナル試験運行業務・会場外輸送に係る運営実施計画及び運営管理業務（変更）、交通ターミナル等における警備業務（変更）、交通ターミナル等に係る光熱水費 ほか	42	209
管理関係費	154	夢洲会場管理棟 備品・什器の調達・搬入、職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	1	7	開幕レセプション運営業務、職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	23	184
合 計	748		65	102		310	1,160

執行額累計

850

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わらうもの

※2 一部、内訳端数調整有

執行率(11月末)

64.5%

執行率(2月末)

73.3%

2024年12月26日 <臨時理事会> 資料

4-1. 運営費：収入予算について



- 入場券売上については、想定来場者数2820万人の80%（2200万人）を前提に、適切な資金計画策定のため固めに算出
- ロイヤリティ等収入については、飲食・物販店舗の充実、ライセンス商品の販売促進
- その他については、会場内の施設・設備の利用料などを見込み

（単位：億円）

項目		23年12月	備考
入場券売上		969	入場券の売上
その他収入	ロイヤリティ等収入	110	飲食・物販ロイヤリティ、ライセンス商品
	その他	81	施設利用料、公営競技等収入
合 計 (自主財源)		1,160	

会場建設費の執行状況について（2024年11月末）

（単位：億円）

執行項目	契約済			今後の予定		執行予定額
	金額	主な内容	前回比 (2024年8月末)	小計	主な内容	
大工区	1,160		+63	218		1,378
PW北東工区	331		+12			
PW南東工区	277	・大屋根（リング）	+3		・会場安全対策等の軽微変更工事	
PW西工区	322	・パビリオンB、C	+11		・会場附帯施設整備	
GW工区	165	・管理施設、ゲート施設等の整備	+22		・空区画等利活用整備	
静けさの森工区等	30	・メタン対策	+1		・メタン対策	
会場附帯施設等整備	19	・附帯整備	+14		・施設等維持補修	
会場施設等維持補修業務	16	（各種サイン・舗装・休憩所等）	0		・リユース対応	
					・会場基盤撤去工事 他	
主要施設	278		+1	17		295
大催事場	91		+0.6			
小催事場	47	・各施設整備	0		・各施設の安全対策等の軽微変更工事	
迎賓館	38		0		・メタン対策 他	
テーマ館	53		0			
若手建築家施設	49	・サテライトスタジオ、休憩所等(20棟)	+0.4			
土木工区	110	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、污水管、給水管、 熱供給管、電気管路、通信管路	+2	▲1	・水道分担金還付 他	109
インフラ設備 (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	237	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備等	+4	20	・附帯設備整備 ・各工事工程に伴う変更対応 ・メタン対策 他	257
交通施設	154	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備	+6	25	・各施設の工事工程に伴う変更対応 ・維持補修、解体工事変更対応 ・メタン対策 他	179
環境評価、委託関係	58	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	+0.2	6	・現契約案件の継続追加業務 他 (プロジェクトマネジメント、コストマネジメント等)	64
合計	1,997		+76	285		2,220
						予備費※ 130
					総 計	2,350

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

※予備費執行となり得るのは「約87億円」。現時点の予備費執行は、隙間が約25億円のため「約62億円」の見込。

■2,350億円の執行率： 85.0%

入場券販売実績、販売促進策について

今後の対応方針と開幕までの取組み

1. 来場の動機付け

- 開幕直前から本格化するチケット購入期に向けて、興味関心や来場意向上を高めるための情報発信の量と質を、第三者からの拡散も含めて強化することで来場を促す。

2. 会期前半への来場誘導

- 混雑が少なく、気候も快適な前期（特に4・5月）のユーザー獲得に注力。
- ユーザー満足度を向上させることで、早期来場者による高評価を全国に速やかに波及させて、更なる新規ユーザーやリピーターを呼び込む好循環を生み出す。

3. 関西圏のリピーター拡大

- 万博への関心が高く、近場のため交通アクセス・宿泊への懸念も小さい大阪・関西のユーザーの早期来場とリピートを拡大させ、ヘビーユーザー層を形成。

4. 開幕までの主な具体的取組み

- コミュニケーション戦略
 - ✓ 新たなテレビCMや交通機関・街中でのサイネージ等により認知・興味喚起の基軸づくり
 - ✓ 年齢別・地域別、関心事項などでターゲットを細分化したメディア戦略により興味喚起
 - ✓ TV番組や雑誌等での取り上げ、インフルエンサーからの発信など、第三者からの効果的な情報拡散
- チケット販売・営業戦略
 - ✓ 混雑が少なく、気候も快適な開幕前期に利用できる安価な開幕券・前期券の積極訴求
 - ✓ USJ等と連携したプロモーションにより、万博への関心の薄い層や遠距離層などの新規顧客を開拓
 - ✓ コンビニや旅行会社で購入できる紙チケット/引換券の周知徹底 など

今後の予算執行について

開幕に向けた運営費予算の管理体制変更について

予算管理体制の変更

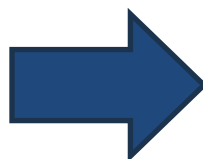
- 2024年10月に予算の適正執行を目的として『局配賦型の予算マネジメント』から『**一括管理型の全体予算マネジメント**』に予算管理体制を変更。
- 協会全体で適正な予算執行を行うことで**運営費総額1,160億円のフレームを堅持**。

予算管理フレームの変更

会期前（～24.9月）

＜局配賦型マネジメント＞

- ・各局配賦の予算内で対応
- ・各局内での流用も可



会期直前、会期中（24.10月～）

＜一括管理型マネジメント＞

- ・財務部門での一括管理
- ・予算流用は不可
- ・全体最適化の予算運用